

二〇二六年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

文学研究科 日本文学専攻（博士前期課程）

科目：論文：専門科目（辞書使用：不可）

解答は解答用紙に記入すること

【問題Ⅰ】 自分がこれまでに最も深い感銘を受けた、日本文学・漢文学・比較文学の作家・作品、および国語学の研究書について、論述せよ（上記のテーマのうちから、一つだけを選んで複数選んでもどちらでもよい）。

【問題Ⅱ】 次の（一）～（二十）の問題のうちから、三題だけ選んで解答せよ。なおそのうちの二題は、必ず自分の志望する時代・分野の問題をひとまとまりで選ぶこと（たとえば、『日本近代文学Ⅰ』であれば、（九）と（十）を選び、それ以外の課題から任意に一題を選ぶ）。

《日本古代文学Ⅰ》

- （一）『古事記』と『日本書紀』の共通点と相違点について説明せよ。
- （二）『萬葉集』における「正近心緒」と「寄物願思」について説明せよ。

《日本古代文学Ⅱ》

- （三）平安文学と植物の関係性について知るところを述べよ。
- （四）次の本文を読んで後の問いに答えよ。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

『源氏物語』『須磨』

問Ⅰ 傍線部を現代語訳せよ。

問Ⅱ 波線部の表現は白居易の詩を引用しているが、同じ表現を引用したことで著名な別の平安文学の作品名を挙げた上で、この作品と『源氏物語』の特徴について述べよ。

《日本中世文学》

- （五）歴史を語る物語の系譜について述べよ。
- （六）日本の中世文学において遺世者が果たした役割について、知っていることを記せ。

《日本近世文学》

- （七）十返舎一九について、知っていることを述べなさい。
- （八）『国性爺合戦』について、作者名を明記しつつ、知っていることを述べなさい。

《日本近代文学Ⅰ》

- （九）雑誌『赤と黒』について知っていることを書きなさい。
- （十）一九二〇年代から一九三〇年代のモダニズム文学について説明しなさい。

《日本近代文学Ⅱ》

- （十一）近・現代詩の歴史的展開についてジェンターの観点から具体的に論ぜよ。
- （十二）近・現代詩人たちが関わった論争について、知っていることを述べよ。

二〇二六年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

文学研究科 日本文学専攻 (博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目 (辞書使用: 不可)

解答は解答用紙に記入すること

《国語学》

(十五) 日本語の敬語について、知るところを述べよ。

(十六) 日本語の「ナ形容詞」と「イ形容詞」について、知るところを述べよ。

《漢文学》

(十七) 次の文章は、太史公 (司馬遷) の伍子胥に対する論評である。これを読んで次の問いに答えよ。(送り仮名を省いた箇所がある)

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(《史記》伍子胥列伝による)

問一 傍線部①を、書き下し文にせよ。

問二 傍線部②を、書き下し文にし、口語訳せよ。

(十八) 中国古典文学における「自注」について、具体例を挙げて説明せよ。

《比較文学》

(十九) 日本の近代作家を一人選び、その作品における文学と自然の関係について分析しなさい。

(二十) 近現代作家を一人選び、その文学におけるキリスト教の影響について述べなさい。

解答は、別紙の解答用紙に行なうこと。以下の余白に記してはならない